

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道138号御殿場バイパス（西区间） <small>ごてんば みどの</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県御殿場市水土野 至：静岡県御殿場市萩原 <small>ごてんば はぎはら</small>	延長	4.3 km		
事業概要					
一般国道138号御殿場バイパス（西区间）は、静岡県御殿場市水土野から静岡県御殿場市萩原に至る延長4.3kmのバイパスです。本バイパスは、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、地域活性化の支援（観光）、交通渋滞の緩和、交通事故の削減、災害に強い道路機能の強化などの効果を見込んでいます。					
H11年度事業化		H6年度都市計画決定 H26年度変更		H14年度用地着手	
H24年度工事着手					
全体事業費	388億円	事業進捗率 (令和3年3月末時点)	約86%	供用済延長 (暫定開通含む)	3.4 km
計画交通量	29,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (2.0) (残事業) 4.5 (4.1)	総費用 (残事業)/(事業全体) 158/666億円 事業費：107/604億円 維持管理費：51/61億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 704/1,243億円 走行時間短縮便益：603/1,076億円 走行経費減少便益：89/140億円 交通事故減少便益：12/26億円	基準年	令和3年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.8~2.0(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.3~4.7(交通量±10%) 事業費：B/C=1.7~2.1(事業費±10%) 事業費：B/C=4.2~4.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8~2.0(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.2~4.8(事業期間±20%)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線(富士急シティバス河口湖)が存在する。 ②都市の再生 ・神場南土地区画整理事業との連携あり ③国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間(御殿場市、小山町須走)を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏の中心都市(御殿場市、小山町須走)へのアクセス向上が見込まれる ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト(富士御殿場工業団地、東富士リサーチパーク)へのアクセスを支援する ・大規模イベント(富士スピードウェイ)のアクセスを支援する ・主要な観光地(御殿場市・小山町、箱根、富士五湖、富士山)へのアクセス向上が見込まれる ⑤災害への備え ・近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立する集落(小山町須走地区)を解消する ・第一次緊急輸送道路に定められている。 ・緊急輸送道路(東名高速道路・中央自動車道)が通行止めになった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する ⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる ⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出量・SPM排出量の削減が見込まれる ・騒音レベルの改善が見込まれる ⑧他のプロジェクトとの関係 ・新東名高速道路と一体的に整備する必要あり。					

